

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護学概論	NSP11_001	必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 文子	418	fumiko.sakamoto	月曜日-金曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	看護学概論は、看護基礎教育で教授する看護学体系の最も基礎となる科目である。看護の目的・対象・方法、看護学の歴史的發展過程、看護理論や看護教育・研究、看護制度・政策の發展過程の概要を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	学生自ら主体的に学習することを認識し、今後の看護学学習の基本的態度を養ってほしい。				
教科書	系統看護講座 専門分野 I 基礎看護学 I 看護学概論/著：茂野香おる/医学書院、2019 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護/著：E.ナイチンゲール/日本看護協会出版会、2019 看護の基本となるもの/著：V.ヘンダーソン、訳：小玉香津子/日本看護協会出版会、2016				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	必要時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護とは何か、ナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
②	看護の対象についてナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
③	看護の方法についてナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
④	看護学の歴史、看護専門職の養成制度、制度・政策、職業倫理について学習した内容を説明できる。	NS(1)～(5)			
⑤	看護を学ぶ学生としての自己の学修課題を記述できる。	NS(1)～(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護とは、看護の定義	講義	予習：看護職を目指す動機について記述する。	復習：学びをまとめる。	4
2	看護の役割と機能	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
3	看護の対象の理解	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
4	健康と国民の健康状態	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
5	看護職養成制度 (基礎教育・継続教育)	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
6	看護における倫理	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
7	看護の提供しくみ、制度・政策	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
8	看護管理・看護教育の実際	講義	予習：指定の資料を読む。	復習：学びをまとめる。	4
9	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く①	講義	予習：入学前課題を振り返る。		
10	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く②	グループワーク	予習：入学前課題を振り返る。		
11	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く③	プレゼンテーション	予習：発表の準備をする。 復習：学びをまとめる。		
12	ヘンダーソン看護論を読み解く①	グループワーク	予習：指定の資料を読みまとめる。		

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

13	ヘンダーソン看護論を読み解く②	グループワーク	予習：グループワークの準備をする。			4	
14	ヘンダーソン看護論を読み解く③	プレゼンテーション	予習：発表の準備をする。 復習：学びをまとめる。			4	
15	看護を学ぶ学生としての自己の課題	プレゼンテーション	予習：自己の課題をまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。			4	
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験 (筆記試験) を行い、授業中に講義した内容の理解度を評価する。筆記試験の得点が 60% に満たない学生は再度筆記試験を行う。			試験問題解答用紙を返却する。 出題意図および解答について解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	授業時に複数回レポート課題を提示する。			内容を点検し、コメントを記して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	授業やグループワークへの取り組みを評価する。			授業中や Teams を用いて伝える。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	小石川好美、他						
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として 15 年の実務経験、教員として 20 年以上の経験を有する。						
実践的授業の内容	教員の経験の紹介や映像資料を用いることで、看護場面をイメージできるように工夫する。						
その他	学習の進行状況によりスケジュールを変更することがある。 今後、感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更を行う可能性がある。						